

第 64 回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和 7 年 5 月 12 日（月）10:00～11:30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

（1）委員

鈴木部会長、片岡部会長代理、石井（満）委員、石井（由）委員、井筒委員、遠藤委員、佐藤委員、白坂委員、新谷委員、中須賀委員（オンライン）

（2）事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 風木局長、渡邊審議官、西野参事官、三上参事官、長谷参事官、早川企画官、石橋参事官補佐

（3）関係省庁

内閣官房国家安全保障局 齋藤企画官、駒井企画官

外務省総合外交政策局 池田課長補佐

文部科学省研究開発局 阿部企画官、池田課長補佐

経済産業省製造産業局 高濱課長、岩永課長補佐

防衛省防衛政策局 高橋参事官、中野屋企画官、長嶺係員

4. 議事要旨

（1）議題 1 「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項（案）」について、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 衛星コンステレーションに係る PFI 事業に関し、官側と民間事業者のリスク分担等について、例えばサプライチェーンリスク等、引き続き官民で連携しながら柔軟に対応することが必要ではないか。

○ HGV 対処に関し、米国と協力する上では、我が国の技術力や強みを生かして検討していくことが必要ではないか。

○ 宇宙×デジタルや AI 活用等について、宇宙戦略基金等における取組の成果を、安全保障の面でも活用していくべきではないか。

（2）議題 2 「準天頂衛星システム公共専用信号の安全保障分野の利用見込み」について、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 新規装備品への公共専用信号（受信機）の導入は、後で改修するとなると、膨大な労力・コストが必要になるため、なるべく設計の初期において判断することが望ましい。

○ 輸出管理や技術情報の保護については、セキュリティクリアランスを考慮した整理が必要ではないか。

(3) 議題3「第3回宇宙交通管理に関する関係府省等タスクフォース大臣会合の実施結果」について、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 宇宙交通管理に関する日本の取組は世界的にも高い評価を受けているため、6月のCOPUOS本委員会などでも積極的に発信し、日本のプレゼンスを高めることが必要である。

(4) 議題4「スペースシンポジウム等への参加結果」について、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 米国の政権交代等の影響を踏まえつつ、米国や欧州等と、引き続き連携を図ることが必要である。

以上